

カヤック体験について

1 ねらい

カヤック体験を通じ、技術の習得や楽しさだけでなく自然の偉大さ・厳しさを学ぶ。

また、パートナーと力を合わせ、協力することの大切さ・素晴らしさを学びながら社会性を養う。

※池での体験活動です。十分な安全確保が必要ですので、事前に以下のことをしっかり確認してください。

2 内容

所要時間	約2時間（着替えを含む） <内訳> 大門池広場での全体説明・体操（約15分） ライフジャケット着用・乗船前説明（約25分） 体験（約35分） 引き上げ・解散（約15分）
実施時間 (1日4回)	①9時～10時30分 ②10時30分～12時 ③13時～14時30分 ④14時30分～16時
場所	大門池広場、大門池
対象年齢	小学4年生以上 ※4歳以上は18歳以上と同乗であれば乗船可
人数	1回40人まで ※2人乗り20艇
実施可能期間	5月～10月

3 計画

- ① 下見時の職員との打合せ
- ② 「四日市市少年自然の家 カヤック体験 参加者名簿」（第9号様式）の提出
- ③ 陸上監視協力者の配置

4 団体様にて準備していただくもの

服装	(1) 濡れてもよい格好（例：ジャージや夏用体操服着用） (2) 濡れてもよい靴 ※体育館シューズ、上履き等必ずかかとがあるもの。 ※ビーチサンダル、かかとの無いクロックス等は不可。乗船をお断りする場合があります。 (3) 帽子（風で飛ばされないようにご準備ください。） (4) カップ（上下セパレートのもの。ポンチョタイプ不可。寒い場合、ライフジャケットの中に着ることで保温されます。） (5) 眼鏡バンド（輪ゴムをつなげたもの等でも可） ※眼鏡が池に落ちた場合、検索は困難となります。
その他	(1) 水筒 ※必ず事前に水分補給をしてください。 (2) タオル (3) その他必要な人は日焼け止めなど熱中症、日射病対策をお願いします。 (4) 落として困るものは船に持ち込まないでください。※首掛け防水ストラップ不可

5 指導体制について

カヤック体験の指導は、団体責任者の実施の決定にもとづき職員3名（陸上監視者1名、水上監視者2名）及び団体の陸上監視協力者1名の4名の体制で行います。

陸上監視者	プログラム責任者としてカヤック体験の指導を行う。
水上監視者	救助艇乗船者として艇に乗り、池に出て監視・救助を行う。
陸上監視協力者	団体様からの協力者として、陸上から監視や安全確保のアドバイスを行っていただきます。

6 当日の活動の流れ

- (1) 体験開始30分前に団体責任者様は事務所までお越しください。自然の家のプログラム責任者と気象状況等について打ち合わせを行い、実施の最終判断をします。
※団体責任者様：団体を引率する責任者（体験実施の可否を決定できる方）
- (2) 参加者は浴室等にて濡れてもよい服に着替えてください。そして、着替えを置いて大門池広場に集まってください。
- (3) プログラム責任者より準備体操・パドル操作方法・ライフジャケット着用方法等の説明を受けます。（約15分）
- (4) ライフジャケットを着用し、大門池前にて危険箇所、注意等の説明を受けます。（約25分）
- (5) カヤックに乗船します。（体験前に参加者がO号艇に乗るか団体で事前に確認してください）
- (6) 大門池でカヤック体験をします。（約35分）
- (7) 終了の合図があり着岸後、パドルを指定の場所に戻すとともに、ライフジャケットのチャックとベルトを締めて物干し台に戻します。
- (8) 引率者様は、参加者に指示をしていただき着替えをお願いします。

＜タイムテーブル例＞ 40人を超える団体等で参加者が複数グループに分かれる場合、以下のタイムテーブルを参考にしてください。

時間	Aグループの行動	Bグループの行動
体験30分前	職員との打ち合わせ・実施判断	
9:00	説明・体操（約15分）	別プログラム・着替え
9:15	ライフジャケット着用・乗船前説明（約25分）	
9:40	体験（約35分）	
10:15	カヤック引き上げ・解散（約15分）	入替り時間（約10分）
10:30	着替え・別プログラム	説明・体操（約15分）
10:45		ライフジャケット着用・乗船前説明（約25分）
11:10		体験（約35分）
11:45		カヤック引き上げ・解散（約15分）

※Bグループ目以降は、乗船前説明の前に団体で準備運動（屈伸、伸脚、手首足首、肩まわしなど）を行ってください。

7 注意事項

- (1) 里山保全活動と併用して活動することはできません。
- (2) 以下の場合は事前にお申し出ください。
 - ① 参加人数40人を超え複数回実施希望の場合
一度に最大40人までしか使用できないため、40人を超える団体様は別プログラムが必要となります。
 - ② 日本語での意思疎通が不可能な方、特別な支援が必要な方
心臓病、てんかん等、持病がある場合
事前に打ち合せにて乗船可能かどうかを相談させていただきます。
第9号様式「四日市市少年自然の家 カヤック体験 参加者名簿」に特別な支援が必要な方は必ずチェックを入れてください。
※事前に相談なく当日危険だと判断した場合は、乗船をお断りすることがあります。
- (3) ライフジャケットを着用できない方は乗船できません。
- (4) 妊娠中の方、体調が優れない方は乗船をお控えください。
- (5) 体調不良の場合はすぐに申し出るようにしてください。
- (6) 体験中は、急な体調変化や持病の再発等がおこることもあります。
参加者の健康状態を把握していただくようご協力願います。
- (7) 陸上監視協力者含め、引率者の方は安全に活動できるよう十分な配慮をお願いします。
- (8) 大門池周辺で活動を見学される方もライフジャケットの着用をお願いします。
- (9) 体験中、カヤックから落ちた場合体験を中止することがあります。
- (10) 緊急時、引率者の方にも艇の引き上げをお願いする場合があります。濡れてもよい格好でお越しください。
- (11) 緊急時、救急車を大門池広場へ誘導します。傷病者以外は上陸後、引率者の方の誘導のもと移動をお願いします。

8 中止・短縮の基準

- (1) 警報発令時は、活動を中止します。
- (2) 注意報発令時は、下記の実施判断基準をもとに、活動の変更・短縮・中止を協議し決定します。
 - ① 気象条件
警報・注意報発令時による活動中止は、午前午後ともに開始1時間前に決定する。気象条件が活動に支障をきたすと考えられる場合は、所長又は副所長および陸上監視者（プログラム責任者）は、団体責任者、団体指導者に対し、協議（勧告）を行います。自然の家が実施可と判断したのちに実施いたします。
なお、気象情報は以下のWEBサイトより情報収集を行います。
(津気象台やウェザーニュース等)

② 活動判断基準（活動前、活動中）

気象警報・注意報発表における活動基準

天気予報他		大門池の気象状況	勧告内容
警報	全て	—	・活動の中止
注意報	大雨	・1時間に20mm以上 ・対岸の堤防が目視できない ・1時間に20mm未満	・活動の中止 ・活動の中止 ・活動の短縮・中止
		・降雨が確認されない	・安全が確認できる場合にかぎり実施可 (但し、今後の気象情報に注意し実施すること) ・活動の短縮
	強風	・最大風速 8m/s 以上	・活動の中止
		・最大風速 5~8m/s 未満	・活動の短縮、中止を検討
	雷 注1)	・レーダーナウキャスト雷活動度2 ・活動エリア上空で稲光や雷鳴が確認される	・活動中止
		・レーダーナウキャスト雷活動度1以下	・安全が確認できる場合に限り実施可 (但し、今後の気象情報に注意し実施すること) ・活動の短縮・中止
	濃霧	・対岸の堤防が目視できない	・活動の中止
		・対岸の堤防が目視できる	・安全が確認できる場合に限り実施可 (但し、今後の気象情報に注意し実施すること)
その他	熱中症予防 運動指針	・WBGT 指数 33 度以上	・活動の中止
		・WBGT 指数 31~33 度	・活動の中止を検討、短縮
		・WBGT 指数 28~31 度	・活動の短縮
		・WBGT 指数 25~28 度	・活動の短縮
		・WBGT 指数 25 度未満	・こまめな休憩と水分や塩分の補給を促す
	その他 注3)	・気温または水温が 20℃以下~15℃以上の場合	・安全が確認できる場合にかぎり実施可 (但し、今後の気象情報に注意し実施すること) ・活動の短縮
		・気温または水温が 15℃未満の場合	・活動中止

注1) 雷の状態は、気象庁WEBサイト「レーダーナウキャスト（雷）」の現状及び予測データによる判定。

注2) 少年自然の家での計測値により判断する。

注3) 風の影響により体感温度が15℃未満となる場合も協議（勧告）の対象とする。

③ その他の状況による活動中止判断基準

- (1) 局所的に短時間で気象が悪化すると予想される時
- (2) 台風の接近、または通過後の気象条件が不良の時
- (3) 竜巻に関する情報が発令されている時
- (4) 記録的短時間大雨情報が発表された時
- (5) 東海地震、南海トラフ地震に関する情報が発表されている、または発生が予想される時
- (6) 団体より中止の申し入れがあった時
- (7) その他、活動に不適切または不可能とプログラム責任者が判断した時